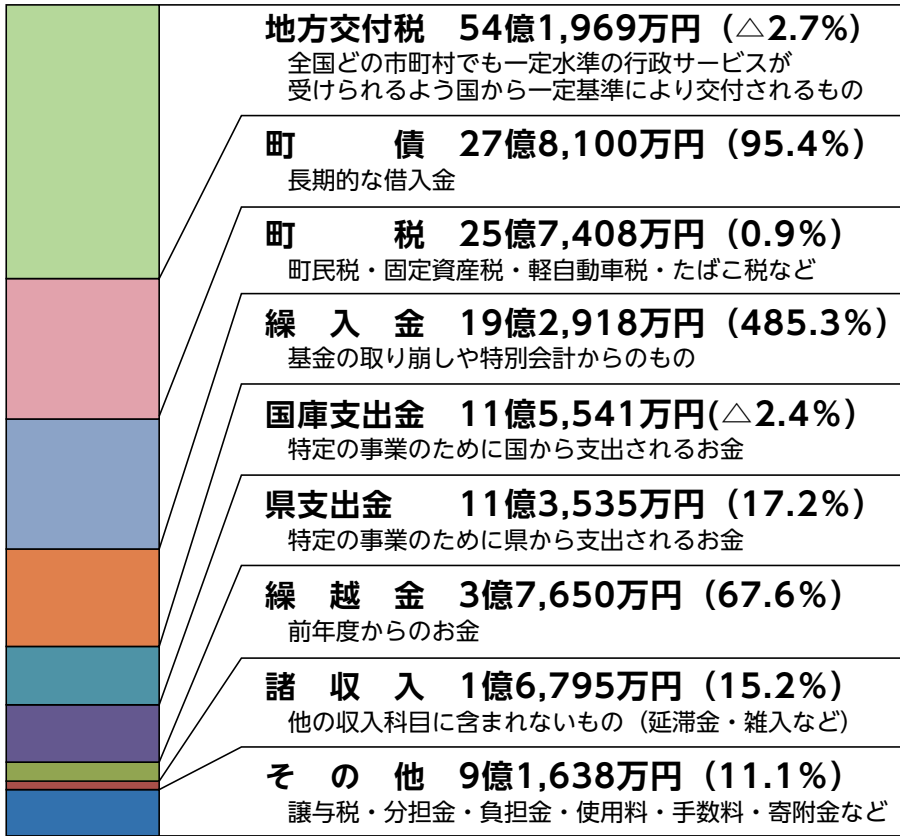


一般会計

歳入 164億5,554万円 (24.4%)

※()数字は前年増減比



平成26年度 一般会計決算概要

■総括

平成26年度一般会計の決算、歳入総額は164億5,554万円、歳出総額は160億1,270万円で歳入歳出の差し引き額は4億4,284万円となっており、翌年度へ繰り越すべき財源1億4,440万円を差し引いた実質収支額は2億9,844万円の黒字となりました。

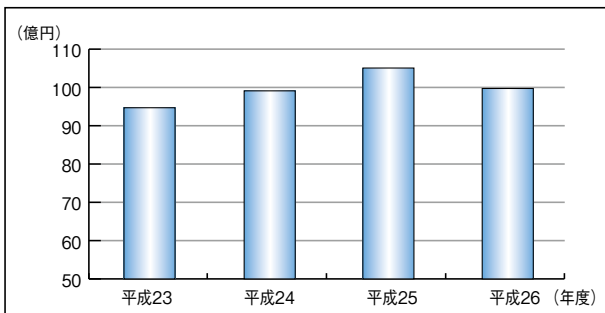
■歳入

町税では固定資産税で615万円、たばこ税で692万円が減額となりましたが、町民税3,356万円、軽自動車税131万円の増により全体で2,185万円の増額となりました。地方交付税では特別交付税は増額となりましたが、普通交付税が減少したことにより1億5,325万円の減額となりました。繰入金では新本庁舎建設事業及び土地開発公社清算に伴い、ふるさとづくり基金など15億9,957万円が増額となり、町債でも新本庁舎建設事業などにより合併特例事業債などが13億5,790万円増額となりました。

■歳出

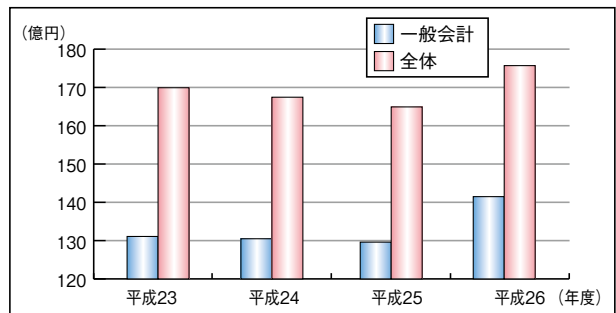
総務費では、百年庁舎として建設された新本庁舎建設事業及び土地開発公社の清算に伴う弁済金、防犯灯のLED化、集落活動センター整備補助などにより24億5,767万円の増額、民生費では臨時福祉給付金事業などにより2億6,405万円の増額、衛生費では、すこやかセンターへの太陽光発電の導入や感染症対策として2億6,798万円の増額、その他では台風などによる災害復旧事業において2億1,494万円の増額となりました。

基金（貯金）の状況



将来の財源不足や支出に備えるため基金という形で貯金をしています。
新本庁舎建設のために積み立てていた基金を取り崩したことにより前年度と比べ5億6,817万円(5.4%)減額し、残高は99億7,163万円となりました。

町債（借金）の状況



町債残高は前年度と比べ一般会計では12億3,708万円(9.5%)、町全体(公営企業除く。)では10億6,083万円(6.4%)の増加となりました。
財政状態を示す実質公債費比率は10.5%で前年度より1.7ポイント下がりました。